

## 民事司法制度改革推進に関する関係府省庁連絡会議（第3回）議事要旨

### 1 日時

令和2年3月10日（火）13:30～13:50

### 2 場所

中央合同庁舎8号館8階特別大会議室

### 3 出席者

#### ○ 議長

和泉洋人内閣総理大臣補佐官

#### ○ 構成員

朝倉佳秀内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）兼法務省大臣官房付

風木淳内閣官房日本経済再生総合事務局次長

三又裕生内閣府知的財産戦略推進事務局長

高田潔消費者庁次長

西山卓爾法務省大臣官房政策立案総括審議官

金子修法務省大臣官房司法法制部長

竹内努法務省大臣官房審議官 ※代理出席

吉田泰彦外務省経済局審議官 ※代理出席

今里讓文化庁次長

保坂伸経済産業省貿易経済協力局長

佐藤朋哉特許庁総務部長 ※代理出席

#### ○ オブザーバー

村田斉志最高裁判所事務総局総務局長

篠塚力日本弁護士連合会副会長

※ 副議長の古谷一之内閣官房副長官補は急用のため欠席

### 4 議事要旨

#### (1) 冒頭挨拶

- 議長から、社会の国際化が一層進展する令和の時代において、民事司法制度がその使命を十全に果たすための課題について、一年間、精力的に検討が重ねられ、今般、そのための方策を現段階で最大限盛り込んだ取りまとめ案として、「民事司法制度改革の推進について（案）」が上程されたので、本日は、これについて御意見をいただきたい旨挨拶がされた。

(2) 本連絡会議の取りまとめについて

- 朝倉内閣官房内閣審議官から、資料1、資料2に基づき、取りまとめ案の内容について説明がされ、資料1の内容を連絡会議における取りまとめとすることが諮られた。
- 出席者から、資料1の内容について特段の異論は出ず、原案どおりの取りまとめとすることが了承された。
- オブザーバーである篠塚日本弁護士連合会副会長から、日本弁護士連合会の要望事項についても適切に反映した取りまとめとなっており、その内容が着実に実行されることについて期待している旨、及び、民事司法の在り方に関する法曹三者連絡協議会において検討されている証拠・情報収集の拡充及び家事事件に関する課題について引き続き検討することは今後の課題として重要である旨述べられた。その上で、日本弁護士連合会としても、取りまとめの内容の実現に向けて真摯に取り組むとともに、民事司法の諸課題の改革に積極的に取り組みたい旨発言があった。
- オブザーバーである村田最高裁判所事務総局総務局長から、今回の取りまとめがされたことについて謝意が述べられた上で、最高裁判所としても、オブザーバーとして参加する中で裁判所への期待の高さを感じるとともに、取りまとめの内容について力を尽くして検討を進め、民事司法制度がより良いものとなるよう努める旨発言があった。

(3) 締め括り挨拶

- 副議長欠席のため、議長から、今回の取りまとめは、我が国の民事司法制度の国際競争力強化、あるいは、国民のみならず外国人からもより利用しやすい民事司法制度を構築するという観点から、まさに、社会の国際化が一層進展する令和の新たな時代のニーズに即した内容となっており、より良い民事司法制度を構築することで民事紛争のより良い解決が図られるよう、取りまとめの内容の着実な実行に向けた関係府省庁等の尽力に期待する旨挨拶がされた。

以 上